

保護者のための 就職情報

東洋大学では、学生自身が将来の進路選択を考える上で、自ら主体的に考え、行動できるよう、各キャンパスの学びの特徴を活かしつつさまざまなサポートを行っています。

本号では、本学をはじめ多数の大学で就職講演をされている就職コンサルタントの福島直樹氏に、企業選びのポイントについて伺いました。

「質的負荷」から仕事を選ぶ

「残業やハラスメントがなく、社風がよくて安定した会社がいいです」

私は長年にわたり就活生の支援をしておりますが、最近はこのような「ホワイト企業志向」が強まっているように感じます。今や、たくさん残業してお金を稼ぎたい、と考える就活生は少数派となりました。もちろん悪いことではないのですが、気になるデータがあります。

リクルートワークス研究所の「大手企業新入社会人の就労状況定量調査」(2021年)によると、新入社員の期のストレス実感として、不安だと感じた人が99～04年卒で66.6%なのに対し、19～21年卒で75.8%となっています。ここしばらく政府の働き方改革もあり、残業時間とパワハラは確実に減少したにもかかわらず、最近の新卒社会人のほうが不安は多くなっています。どういうことでしょうか。

調査によれば「自分は別の会社や部署で通用しなくなるのではないか」という声が48.9%にのぼっています。さらに「(上司や先輩が)何を言うにもオブラートに包みすぎのように感じる」「親戚の子どものような扱いだ」という声があるほどです。つまり新人は、ぬるま湯過ぎて成長できるか不安なのです。この調査では仕事には3種類の負荷が存在することが示されています。

量的負荷 例：残業時間が長い

質的負荷 例：仕事自体が高度

関係負荷 例：上司からのパワハラ

質的負荷が高まると成長実感も高まることが報告されています。成長実感を重視する社会人にとっては、質的負荷が高い会社は一概にブラック企業ではありません(一方、関係負荷が高まると成長実感が低くなることもわかっています)。これは仕事選び、就職活動において有効な視点となります。

就活生は仕事の経験がなく、「ぬるま湯」的な企業を良い会社と考えがちです。しかし実際にそんな会社に入っても満足できない可能性が高いのです。そこで有効活用できるのはOB・OG訪問やインターンシップ(仕事体験)です。これらを通じて質的負荷の高い会社かどうかを確認することができるでしょう。私も就職活動支援ガイダンスの中で伝えてまいりますが、ぜひこの視点をお子様にお伝えください。



就職コンサルタント

ふくしま なおき
福島 直樹

1966年長野県生まれ。1989年上智大学文学部史学科卒業。同年株式会社博報堂に入社し、国際業務局にてヨーロッパ関連の業務に従事。学生の就職相談にも応える。同社退社後、1993年より就職コンサルタントとして就職・採用にかかわる執筆、講演活動を行う。また、ボランティアでメールを利用した「福島直樹の見えない就職ゼミ(学生無料)」を主宰。同時に社会人の転職相談にももの。企業の採用コンサルティングでは、戦略立案、選考実施なども担当。



東洋大学

お悩み相談 Q&A

Q

内定はあるようですが、納得することができず就職活動を継続しています。どのようにアドバイスすればよろしいでしょうか。 **4年生**

まずは、本人が不安に感じていることや企業を選ぶ上で大事にしていることなど、お子様の気持ちを聞いてあげてください。この時期、内定を持ちながら就職活動を継続している学生は一定数見られます。理由としては、概して内定先に何らかの不安があり継続しているわけですが、自身の軸が分からなくなり、方向性を見失ったまま活動を続けていることもあります。就職・キャリア支援室では専門の相談員による個別相談を行っています。継続して相談をすることで、方向性が明確になっていきます。ぜひ利用を促してください。

Q

就職活動を再スタートします。これから開始して内定が得られるのか心配です。 **4年生**

お子様に寄り添い、安心して活動を始められるようサポートしてあげてください。例年、これから就職活動を再スタートする学生は珍しくありません。保護者様としてはご心配で早急なアドバイスをしてしまいがちですが、かえって本人を追い込んでしまうこともあります。身近なサポーターとしてお子様を見守ってあげてください。大学には大学限定の求人や優良企業からの求人が数多く届いております。この時期からの再スタートで内定に繋がるケースは多数見られます。また、11月以降も4年生向けの求人紹介会を開催する予定です。これからの活動は1人で抱え込まず、大学の支援を活用するようお声掛けください。

Q

これまで以上に就職活動が早期化されると聞いています。夏のインターンシップに参加しなかったのですが、大丈夫でしょうか。 **3年生**

おっしゃる通り、就職活動の早期化傾向は2024年卒も続き、インターンシップの重要性は高まっています。ですが、現時点でインターンシップに参加されていないなくても、ご心配なさらないでください。秋冬のインターンシップもありますし、合同企業説明会や、気楽に参加できる説明会だけのものなどに参加して、業界・企業理解を深めることもできます。3年生向けに9月より順次開始している「就職活動支援セミナー」に参加することで、どの時期に、どのように活動をすすめていけばよいのかがわかります。あわせて、個別相談を利用することで、就職活動に遅れることなく安心して活動できます。ぜひ、大学の支援を積極的に活用するようおすすめください。

お知らせ

■ 大学に届いた求人情報の探し方

大学で受け付けている求人は、本学学生専用システム「ToyoNet-G」の「求人検索 NAVI」および「Unicareer」にて閲覧が可能です。東洋大学生の採用に積極的な企業や業界トツシエを誇る優良企業など、学生に知ってほしい求人が多く掲載されていますので、お子様が広い目で企業探しを進められるよう、ぜひ大学に届いた求人情報も活用してください。

■ 学内就職キャリア支援行事を知る方法

大学から学生への就職キャリア支援に関するお知らせは「東洋大学公式アフリ」や学内ポータルサイト、メール等で配信します。

保護者のための就職情報

2022年10月

編集・発行／東洋大学就職・キャリア支援部
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20